



第9号 2022年8月 発行
くまもと県北病院 認定看護師会



認定看護師だより

摂食嚥下障害看護認定看護師 川野陽子 浦野仁美

今月は、摂食嚥下障害看護認定看護師が所属しているNST委員会についてご紹介します。

NSTとは、「Nutrition Support Team」栄養サポートチームのことです。

栄養状態が悪いと治療効果が得られにくく、合併症を引き起こすリスクが高くなるため、専門知識を有した多職種がチームとなりサポートを行います。

NSTコアメンバーには、**口腔外科医師**、**総合診療科医師**、言語聴覚士、管理栄養士、NST専門療法士、摂食嚥下障害看護認定看護師がいます。

また、薬剤師、事務、各病棟のNST委員がリンクナースとして活動しています。

NSTでは、摂食嚥下機能評価の一つとして「ビデオ内視鏡検査(VE)」を回診時に実施しています。

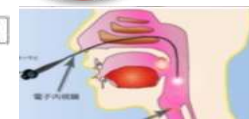
「VE検査」は、鼻から入る細くて柔らかいファイバースコープでのどを観察し、嚥下障害への対処方法を明らかにするためにを行います。

VE検査終了後は、VE検査スコア評価法を用いて必ず医師とコメディカルで検討し、食事形態や今後の嚥下リハビリ内容を提案しています。

ビデオ内視鏡検査(VE)



ベッドサイドでできる検査です。



《コアメンバーの役割》

【歯科医】

「VE検査」を実施します。歯科医によって歯や義歯の状態など口腔内の診察を専門的に行うことができます。口腔外科が関わることで、検査前に歯科衛生士による専門的口腔ケアを行い誤嚥した場合のリスク低減



【医師】

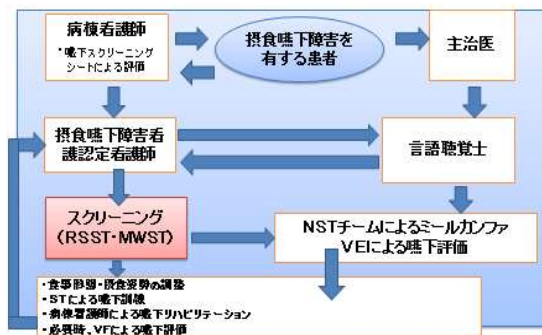
総合診療科医師の診察にて、急性期から終末期など幅広いステージの患者様へ介入することができるようになりました。



【言語聴覚士と認定看護師】

その方にあった姿勢調整や食事介助を行います。より安全に食べて頂くにはどうしたらよいかを、患者さんの状態や検査画面を見ながら介入していきます。言語聴覚士は、嚥下リハビリについて提案を行います。

当院におけるチーム介入の流れ



【管理栄養士】

必要な検査食材を調整し急な検査食の変更にも対応します。その方に必要なカロリーと摂取カロリーを計算し、嚥下状態や咀嚼能力、食思に応じた食事と補助栄養について提案を行います。



【NST専門療法士】

経口摂取でどうしても必要カロリーを満たすことができない時は、医師とNST専門療法士が静脈栄養や経腸栄養について提案を行います。

コロナ禍、従事している皆様、日々の業務お疲れ様です。栄養や嚥下障害等々でお困りの時は、メール等でも遠慮なくご相談頂けると幸いです。